

菅平 イタリア代表 事前キャンプ内定

W杯ラグビー

上田市は19日、ラグビーの2019年ワールドカップ(W杯)日本大会に出場するイタリアチームが同市菅平高原で事前キャンプを行うことが内定したと発表した。母袋



イタリアのW杯事前キャンプ地に内定した上田市の菅平高原。今夏も海外を含め多数のラグビーチームが合宿や試合に訪れた17月

創一市長はイタリアラグビー

連盟と事前キャンプ実施に関する合意書に調印するため、27日からイタリアへ渡る。市長は19日の記者会見で「スポーツ合宿地としての菅平高原の知名度、ブランド力を国内外へ発信していきたい」と述べた。

日本大会はアジア初開催で、19年9月20日から11月2日までの44日間、東京や札幌市、福岡市など全国12会場で開催。事前キャンプは、9月10日ごろから大会期間にかけて行われる公認キャンプより前に行う調整を目的としたキャンプを指す。

キャンプは18、19年に少なくとも計12日間行うことで合

意。期間中は選手や関係者ら50〜60人が訪れ、サニアパーク菅平を拠点にトレーニングする。宿泊は菅平高原や上田市街地の宿泊施設を想定している。

市は今春以降、事前キャンプ誘致に乗り出し、県の助言もあり出場予定国の中からイタリアにアプローチ。6月にイタリアの連盟の渉外担当者が菅平高原を視察し、108面のグラウンド環境や冷涼な気候を高く評価していた。この間、市が誘致にかけた費用は、交渉経費、イタリア側の渡航・滞在費用の補助(今後の支出予定含む)などに計約4千万円。ほかに県から500万円の財政支援を受けた。

公認キャンプ地には全国の76件、90自治体が応募。上田市は菅平高原を候補地として県内で唯一申請した。大会組織委が今秋にも候補地を選

び、来春以降正式に決まる。市によると、18年に上田市

境の良さを積極的に発信を行うことや、20年東京五輪・パラリンピックのイタリア選手との交流を行い、連盟側が事前キャンプについても交渉することなどで合意した。